

■長瀬富郎 実業家。“花王石鹼”の製造・販売をスタートに、宣伝工夫で発展、油脂石鹼業界に君臨するも、早世した。

ながせとみろう

8月18日政変 1863＝ 美濃国恵那郡福岡村で、造り酒屋と農業を営み村役を務める長瀬栄蔵の次男に生まれる。

明治維新・・・1868＝ 5歳：

学問のすすめ1872＝ 9歳：

明治6年政変 1873＝10歳：

佐賀の乱・・・1874＝11歳： 同国の_母方叔父の雑貨商の(若松屋) 西店に奉公に出て、石鹼と出会う。

西南戦争・・・1877＝14歳：

琉球処分・・・1879＝16歳： _{若松屋} 下呂支店を任されるまでになるが、

明治14年政変1881＝18歳：

_独立心抑えがたく、苦学しながら12年間勤めて、

内閣発足・・・1885＝22歳： 退職。上京し、独立資金を増やすべく、米相場に手を出すが失敗。

帝国大学始・・・1886＝23歳： _日本橋馬喰町の和洋小間物商{伊能商店}に勤め、舶来石鹼の人気を実感。すぐ大番頭となり富郎と改名。

国民之友始・・・1887＝24歳： 独立、従兄と日本橋に洋品雑貨店{長瀬洋物店}を開業、従兄はすぐリタイアし、妻の協力を得て商売、

初の対等条約1888＝25歳： _良質の国産石鹼製造をめざし、石鹼製造職人の村田亀太郎と提携して新宿旭町に石鹼工場を創り、

帝国憲法発布1889＝26歳：

_知人の薬剤師瀬戸末吉から分析の基礎を学ぶなどして、

帝国議会始・・・1890＝27歳： *_良質な長瀬留型石鹼“花王石鹼”を完成し、販売に乗り出す。

_鉄道沿線に看板を建てるなど広告費をかける一方、販売店へ様々なメリットを供するなどして大ヒット商品となり、やがて、陸・海軍や官庁、病院への納入に漕ぎつけ、

日清戦争始・・・1894＝31歳：

日清戦争終・・・1895＝32歳： *_発売5年で、4.4万ダースと驚異的成功となって、家内工業では対応できなくなったため、

白馬会・・・1896＝33歳： _向島須崎に新工場を建設、

_驚異的成長はさらに続き、

Bushidou・・・1899＝36歳： _同地に、大工場を新築し、アメリカから機械装置一式を導入したが、

ピアノ国産化・・・1900＝37歳： *_馬喰町界限小間物商が共同出資して設立し、自らが副頭取を務めていた(東西銀行)が破綻、私財を抛出して辛酸を舐めた上、投資もできず、以後停滞。化粧水“二八水”を発売し、花王化粧品の嚆矢となる。

教科書疑獄・・・1902＝39歳： _ようやく回復して、工場での一貫生産が実現し、

その後、粉歯磨・練歯磨・石蠟などの製造・販売にも事業を拡げ、

日露戦争終・・・1905＝42歳：

満鉄発足・・・1906＝43歳： 石鹼工場初の試験室を設置、

韓国反日暴動1907＝44歳： 一気に10万円を突破して、_わが国油脂石鹼業界に君臨するに至ったが、

アヲテ創刊・・・1908＝45歳：

伊藤博文暗殺1909＝46歳： *_健康が悪化し、

韓国併合・・・1910＝47歳： 世界最大の石鹼メーカー・イギリス{リバー=ブラザーズ社}が神戸に工場建設というニュースが聞き、

大逆事件判決1911＝48歳： _没した。